

2006年度決算・2007年度業績予想について

星光PMC株式会社
コード番号4963

目次

1. 事業概要について
2. 当社の経営戦略
3. 当期の事業環境について
4. 当期の連結業績
5. 財務諸表
6. 07年度業績予想
7. 中国での事業展開について

< 予想に関する注意事項 >

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。

1. 事業概要

● 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品

紙 新聞用紙
印刷・情報用紙
家庭紙 他

板紙 段ボール原紙
紙器用紙 他



● 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂
記録材料用樹脂

平版インキ
グラビアインキ
新聞インキ
フレキソインキ
トナー



2. 当社の経営戦略

(1) 製紙用薬品事業

製紙業界の経営戦略 = 「高品質化、生産性の向上」に寄与する薬品システムの提供

・板紙のアルカリ抄紙

- ・板紙の抄紙pHを酸性からアルカリに転換し、リサイクル古紙の安定的な使用に貢献する薬品システム
- ・板紙の生産性を飛躍的に向上させ、排水削減等環境問題の解決に貢献する薬品システム

・新聞紙の高品質化を推進する薬品システム

- ・新聞紙の白色度および不透明度アップの要求に応える薬品システム
(新聞印刷のカラー化、高速化への対応)

・嵩高紙、高級ティッシュ等差別化紙製品の品質確立に寄与する新規製紙用薬品

- ・嵩高書籍用紙、高級ティッシュ・トイレットロール等の差別化紙製品の
高品質化に貢献する薬品

・中国張家港工場を拠点とした中国市場でのシェア獲得

- ・昨年5月から予定通り生産を開始、中国製紙産業の品質要求に応える
製紙用薬品を投入し、シェア獲得を図る。

(2) インキ用・記録材料用樹脂事業

- ・環境対応型のグラビア印刷インキ用樹脂・コート剤の拡販
・環境対応を促進する高性能水性樹脂を開発
- ・複写機・プリンターの世代交代に対応した記録材料用樹脂の開発
・ケミカルトナー化、カラー化への対応、IJ顔料インキ用樹脂の開発

(3) 新規事業

当社グループのコア技術である乳化・分散技術、重合技術を応用した第3の事業の立ち上げ

- ・フィルム用帯電防止剤、電子材料用感光性樹脂、
自動車塗装用プライマーへの展開

(4) 研究開発・生産・営業が一体となった全社的合理化の推進

3. 当期の事業環境について

紙・板紙生産数量(国内)

単位:千トン

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	前年度比
紙	18,557	18,501	18,829	18,977	19,076	0.5%
板紙	12,212	12,103	12,045	12,088	12,002	-0.7%
合計	30,769	30,604	30,874	31,065	31,077	0.0%

日本製紙連合会 統計資料

各種印刷インキ生産数量(国内)

単位:千トン

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	前年度比
平板インキ	145	155	163	165	170	3.0%
樹脂凸版インキ	26	25	26	25	25	0.0%
グラビアインキ	135	133	135	133	135	2.3%
新聞インキ	55	55	56	58	60	3.4%
その他	74	73	68	66	64	-3.0%
合計	433	439	448	446	454	1.8%

化学工業統計月報

紙・板紙、印刷インキとも生産数量はほぼ前期並み、両業界とも国内は成熟市場

4. 当期の連結業績

4 - 1 . 連結損益推移

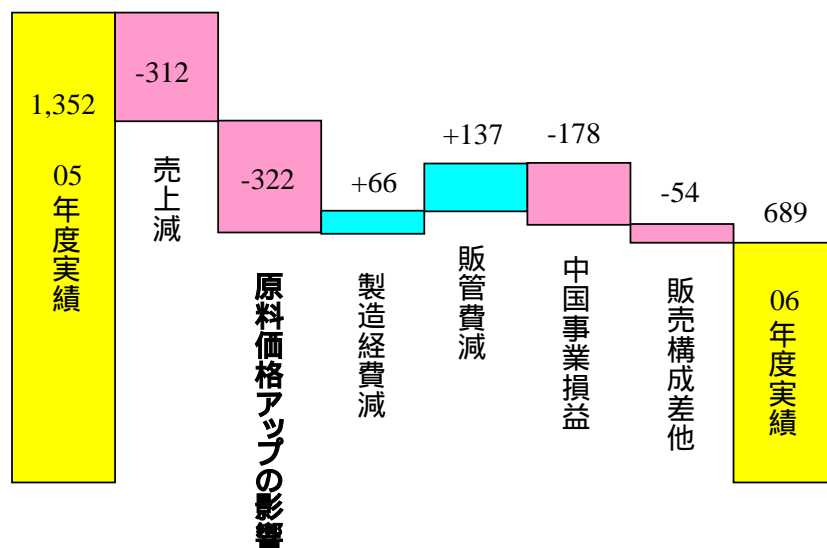
単位：百万円

	04年度	05年度	06年度				
	実績	実績	実績	前年度比	予想値	差額	
売上高	21,766	23,458	23,612	0.7%	154	24,460	-848
営業利益	1,876	1,352	689	-49.0%	-663	868	-179
経常利益	1,891	1,442	720	-50.1%	-722	900	-180
対売上高比	8.7%	6.1%	3.0%			3.7%	
当期純利益	1,014	1,093	366	-66.5%	-727	490	-124

1. 売上高：製品の値上げ効果で金額ベースでは微増だが、製紙用薬品を中心に前期同期比で数量ベースで減少
2. 営業利益：販売数量の減少、原料価格のアップの影響および中国事業立ち上げのコスト負担増で大幅減益に
3. 当期純利益：前年度は特別利益が422百万円発生

4 - 2 . 連結営業利益の増減要因

06年度 07年度
 1,352 689百万円
 663百万円 -49.0%



1. 製紙用薬品事業を中心とした数量ベースでの売上減少 (4.7%) による利益減 = 312百万円
2. 原料価格のアップによって322百万円が減益要因に
3. 中国事業の立ち上げによるコスト負担増 = 178百万円

4 - 3 . セグメント別概況 (連結)

単位:百万円

	04年度	05年度	06年度			
	実績	実績	実績	前年度比	予想値	差額
売上数量(トン)						
製紙用薬品	156,368	168,989	158,281	-6.3%	-10,708	
印刷インキ・記録材料用樹脂	23,260	22,910	24,578	7.3%	1,668	
合計	179,628	191,899	182,859	-4.7%	-9,040	
売上高						
製紙用薬品	15,197	16,934	16,584	-2.1%	-350	17,400
(内中国現地販売分)	(-)	(-)	(32)		(32)	
印刷インキ・記録材料用樹脂	6,488	6,524	7,028	7.7%	504	7,060
合計	21,685	23,458	23,612	0.7%	154	24,460
営業利益						
製紙用薬品	1,352	1,026	418	-59.3%	-608	678
(内中国事業)	(-)	(52)	(230)		(178)	(211)
印刷インキ・記録材料用樹脂	524	326	271	-16.9%	-55	190
合計	1,876	1,352	689	-49.0%	-663	868

売上高増減要因

製紙用薬品: (前年度比 350百万円減)

 表面サイズ剤の販売減 = 420百万円

印刷インキ・記録材料用樹脂: (前年度比 504百万円増)

 平版インキ用樹脂の販売増 = +580百万円

5. 財務諸表

5 - 1 . 貸借対照表 (連結)

単位:百万円

	前期末	当期末	増減		前期末	当期末	増減
流動資産	14,174	13,761	-413	流動負債	7,755	7,910	155
現金及び預金	1,234	441	-793	仕入債務	4,789	4,930	141
売上債権	8,313	8,934	621	短期借入金	525	1,230	705
棚卸資産	2,953	3,174	221	未払金	816	625	-191
運用資産	600	-	-600	その他	1,625	1,125	-500
その他	1,074	1,212	138	固定負債	1,657	1,072	-585
固定資産	13,675	13,647	-28	長期借入金	467	77	-390
有形固定資産	11,532	11,692	160	退職給付引当金他	1,190	995	-195
無形固定資産	275	217	-58	負債合計	9,412	8,982	-430
投資有価証券	1,309	1,181	-128	資本金	2,000	2,000	0
投資その他の資産	559	557	-2	資本剰余金	1,566	1,566	0
				利益剰余金	14,380	14,375	-5
				評価換算差額等	491	484	-7
資産合計	27,849	27,407	-442	資本合計	18,437	18,425	-12
				負債・資本合計	27,849	27,407	-442
				株主資本比率	66.2%	67.2%	1.0%

1. 中国事業への投資により運用資産600百万円減、有利子負債は315百万円増

2. 株主資本比率は、67.2%に

5 - 2 . 損益計算書 (連結)

単位:百万円

	05年度	構成比	06年度	構成比	増減
売上高	23,458	100.0%	23,612	100.0%	154
売上原価	17,547	74.8%	18,579	78.7%	1,032
売上総利益	5,911	25.2%	5,033	21.3%	-878
販売費・管理費	4,559	19.4%	4,344	18.4%	-215
営業利益	1,352	5.8%	689	2.9%	-663
営業外損益	90	0.4%	31	0.1%	-59
経常利益	1,442	6.1%	720	3.0%	-722
特別損益	359	1.5%	0	0.0%	-359
税引前利益	1,801	7.7%	720	3.0%	-1,081
法人税等	708	3.0%	354	1.5%	-354
当期純利益	1,093	4.7%	366	1.6%	-727

05年度の主な特別損益

有価証券売却益 +273百万円

固定資産売却益 +145百万円

主な経費項目 (製造原価と販売費及び一般管理費との合計額)

単位:百万円

	05年度	06年度	差額
人件費合計額	4,515	4,515	0
減価償却費合計額	1,103	1,190	87
設備投資額	1,451	2,171	720
研究開発費	1,572	1,503	-69
対売上高比率	6.7%	6.4%	

内中国事業 1,522百万円

6.07年度業績予想

6 - 1 . 年間業績予想 (連結)

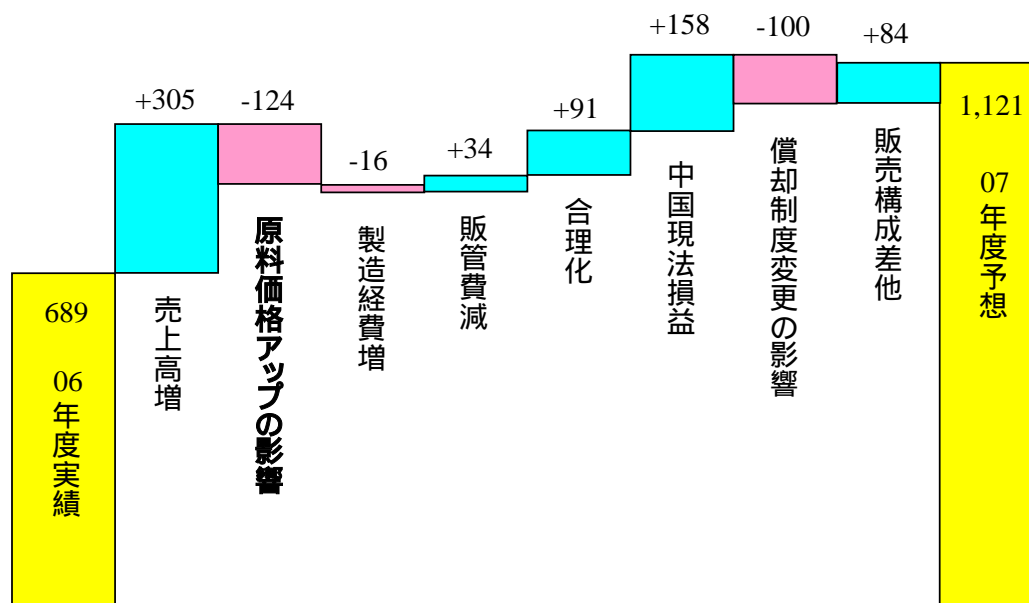
単位:百万円

	05年度	06年度	07年度	
	実績	実績	予想	前年度比
売上高	23,458	23,612	25,991	10.1% 2,379
営業利益	1,352	689	1,121	62.7% 432
経常利益	1,442	720	1,200	66.7% 480
対売上高比	6.1%	3.0%	4.6%	1.6%
当期純利益	1,093	366	700	91.3% 334
ROE	6.1%	2.0%	3.8%	1.8%
減価償却費	1,103	1,190	1,293	103
EBITDA (営業利益 + 償却費)	2,455	1,879	2,414	535
設備投資額	1,451	2,171	1,452	-719
一株当たり配当(円)	10.0	10.0	10.0	0.0

製紙用薬品事業での販売の反転が焦眉の課題

6 - 2 . 連結予想営業利益の増減要因

06年度 07年度
 689 1,121百万円
 +432百万円 +62.7%



1. 紙薬品の販売増を中心とした売上増加による利益増を305百万円見込む
2. 中国事業の採算改善 = 158百万円
3. 全社的な合理化推進効果 = 91百万円

6 - 3 . セグメント別業績予想 (連結)

単位:百万円

	05年度	06年度	07年度	
	実績	実績	予想	前年度比
売上数量(トン)				
製紙用薬品	168,989	158,281	167,750	6.0% 9,469
印刷インキ・記録材料用樹脂	22,910	24,578	26,344	7.2% 1,766
合計	191,899	182,859	194,094	6.1% 11,235
売上高				
製紙用薬品	16,934	16,584	18,531	11.7% 1,947
(内中国現地販売分)	(-)	(32)	(1,200)	(1,168)
印刷インキ・記録材料用樹脂	6,524	7,028	7,460	6.1% 432
合計	23,458	23,612	25,991	10.1% 2,379
営業利益				
製紙用薬品	1,026	418	870	108.1% 452
(内中国事業)	(52)	(230)	(72)	(158)
印刷インキ・記録材料用樹脂	326	271	251	-7.4% -20
合計	1,352	689	1,121	62.7% 432

売上高増減要因

製紙用薬品:(前期比1,947百万円増)

1. 板紙のアルカリ抄紙化による乾燥紙力剤他の拡販 = +300百万円
2. 表面サイズ剤の失地挽回 = +220百万円
3. 嵩高書籍用紙、高級ティッシュ向け等差別化製品の拡販 = +240百万円
4. 中国での販売増 = +1,168百万円

印刷インキ・記録材料用樹脂:(前期比432百万円増)

平版インキ用樹脂の拡販

7. 中国での事業展開について

中国の紙生産数量は、2006年で68百万トン(前年比20%増)と日本の31百万トンを大きく上回り、世界第2位であり(第1位は米国の83百万トン)、2007年には米国に肉薄することが予想される。

また、品質水準も年々向上し、製紙用薬品へのニーズも高まっており、王子製紙等日本の大手製紙会社も中国への進出を発表している。

当社の中国事業

1. 現地生産会社:

星光精細化工(張家港)有限公司

・2006年5月生産開始

(1) 資本金: 1,450万USD(当社100%出資)

(2) 場所: 江蘇省張家港市

(張家港保稅区江蘇揚子江國際化学工業園内)

面積: 約4万m²

(3) 生産品目: 製紙用紙力増強剤、製紙用サイズ剤 他
生産能力: 約3万トン/年

2: 現地販売会社:

星悦精細化工商貿(上海)有限公司

・2006年3月設立

(1) 資本金: 450万USD(当社100%出資)

(2) 場所: 上海市

(3) 販売目標: 年商16億円(2008年)

